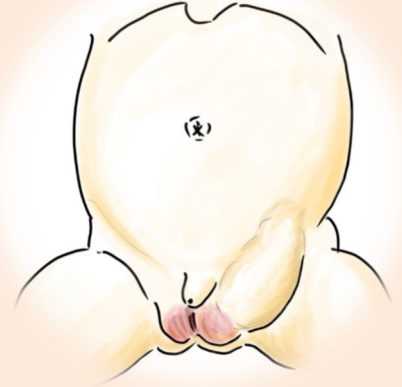


こどもの鼠径ヘルニア

医学研究所北野病院 小児外科

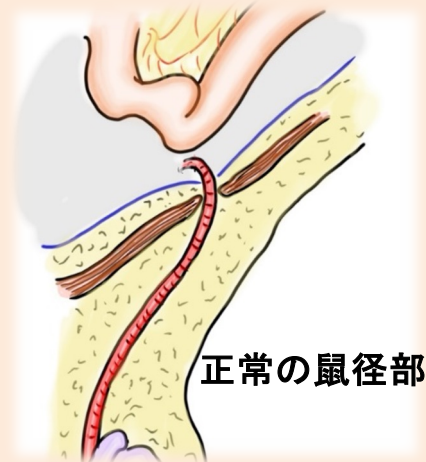
鼠径ヘルニアとは？

鼠径ヘルニアは、こどもの1～5%に発生する頻度の高い病気です。臓器全部を包んでいる膜(腹膜)が腹筋の外に飛び出しており、その中に腸や卵巣が入り、膨れたようにみえます。腸が入り込んでも、すぐに戻るようであれば緊急性はありません。しかし時々、入り込んだ腸が戻らなくなることがあります。こどもは機嫌が悪くなり、ふくらんだ部分は硬く、触ると非常に痛がります。この状態を放置すると入り込んだ腸に血が行かなくなり、最終的には腸が腐ります。状況によっては、緊急手術が必要になることもありますので、すぐに受診して下さい。



鼠径ヘルニア手術とは？

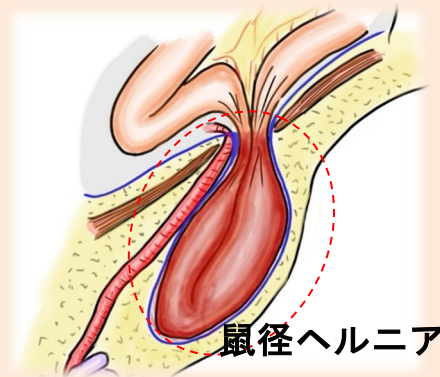
腸や卵巣が脱出していればおなかの中に戻し、腹筋の外に飛び出した穴を閉じる手術です。30分程度の手術です。



正常の鼠径部

麻酔は？

麻酔は全身麻酔(寝る麻酔)です。手術後は少しぼんやりした状態ですが、すぐにはっきりしてきます。痛みに関しても、小さい傷の手術になりますので、それほどありません。麻酔に関して不安なことがあれば、術前の麻酔科医師の診察時になんでもお聞きください。



鼠径ヘルニア

入院期間は？

当院では、基本的に日帰り手術(お泊りしない)を行っています。(日帰り手術が出来ない場合もありますので、気軽にご相談ください)

生活面での注意は？

手術前の生活に制限はありません。退院後、通学・通園は可能です。入浴(シャワー)は術後2日目から可能です。激しい運動や、プールは術後1週間は控えてください。

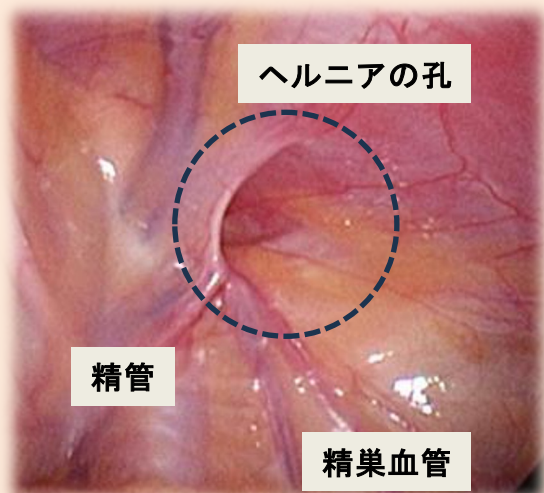
鼠径ヘルニア手術(鼠径法)

鼠径部に約2cmの切開をおき、ヘルニアの袋の根元を縛ってくる手術です。傷はパンツに隠れる位置になりますので、目立ちません。反対側のヘルニアの観察はできませんので、将来反対側のヘルニアが発症することがあります。

腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術

臍からカメラを挿入し、おなかの中をモニターに映してヘルニアを内側から観察します。その後、右もしくは左側腹部から直径2mmの細い器具をいれ、特殊な針と糸でヘルニアの袋の根本を閉鎖する手術です。傷はほとんどわかりません。

腹腔鏡での手術が困難な場合・問題が起こった場合には、途中から通常の手術に変更する場合があります。



腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の特徴

小さい傷 : 従来の手術にくらべ圧倒的に小さな傷です。

反対側のヘルニアを見つけることができます :

腹腔鏡ではおなかの中から観察できますので、反対側のヘルニアを見つけることができます(約半数の方に反対側のヘルニアがあります)。もしあれば同時に手術が可能です。その為、腹腔鏡手術では反対側のヘルニアの再発はほとんどありません。

精管・精巣血管に対してやさしい :

男児では精巣血管や精液を送る精管がヘルニアのすぐ横にあります。内視鏡は拡大してものを見ることが出来るため、鼠径法に比べて血管や精管への影響がより少ないと考えています。

